

# O2

大庄通信

開けたら笑顔になって  
誰かに話したくなる  
フリーマガジン

になればいいなあ

4号

2025年 6月



特集

いざ 野球シーズン

じいちゃんの大庄いま昔  
大庄パフォーマー  
熱血クラブチームin大庄

突撃！となりのグループさん  
レンズの向こう側

TAKE  
FREE





## 特集 いざ野球シーズン



創設46年の成徳イーグルスは団員数56名。幼稚園児から小学6年生までが野球をしています。指導者もなんと36名！練習は火水土日となっており、お茶当番がないので、保護者の負担が少ないです。



代表歴30年の橋本さん

成徳イーグルスで野球を教えようと思ったきっかけは自分の子どもが入ってからとのこと。いまでは橋本代表が一番の古株に。楽しくすることがモットーですが、礼儀やあいさつなどはしっかり指導されているとのこと。「エラーしたり失敗したり、野球のことではあまり叱らないですけど、野球以外で悪いことをしたときは叱ります。喧嘩したりお弁当でハトに餌をやったり……」

精神の強さ、体力、思いやり、そして感謝を忘れないようにいつも伝えられています。

### 野球雑学①

8月9日は野球の日

成徳イーグルス  
問い合わせ：☎090-3675-7712  
活動日：火水土日  
活動場所：蓬川公園グラウンド  
春日公園グラウンド



「大庄地域に野球チームがいくつかあるので、切磋琢磨しながら、野球の普及に尽力したいなと思います。みんなでスポーツの大切さを広げていきたいなと思っています。僕たちもC級の大会（4年生の大会）を開いていて、やっぱり子ども達に楽しんで野球をやってほしいという気持ちでやっています。“スポーツを楽しんでやる”。だから野球じゃなくても、剣道にしても、バレーボールやサッカーにしてもバスケットボールにしても、何かしてほしいなと思います。

みんなには言っているんですが、指導者もそうですが保護者へも、“ちょっとでも手伝ってくれてありがとう”という『感謝の気持ち』を持って、やってくださいと伝えています。

ボランティア活動では、私は一生懸命やっているけどあの人はやっていないって言いだしたら、ボランティアではなくなります。そんなこと言う人は手伝わなくていいと思います。こんなボランティアの世界ってね、“ちょっとでも手伝ってくれてありがとう”っていう気持ちを持ってほしいですし、できる人がやったらいいと思っています。私はそれでやっています。私もサラリーマンですから……」と代表の橋本さん。

#### 野球雑学②

尼崎市小田南公園にできた阪神タイガース二軍球場。  
両翼95m、中堅118m。  
甲子園球場と全く同じサイズ。



## じいちゃんの大庄いま昔

## 浜田にあった阪神浜田球場



1979年当時の写真



現在の写真（阪神バス株式会社 本社・尼崎営業所）

2025年3月1日に阪神タイガースの二軍新本拠地球場が大物の小田南公園にオープンしましたが、かつては大庄にもこの阪神二軍球場があったのです。

阪神電車は国道2号線にチンチン電車を走らせていましたが、これが1975年に廃止され、浜田（大庄川田町）にあった電車車庫の跡地利用として阪神二軍球場ができました。1979年から1994年まで使われ、鳴尾浜へと移っていきました。

高校野球期間中は一軍の選手が練習に来たりして、よくまあこんな所に“掛布”、“バース”、“岡田”が、と感激でした。狭い所でしたのでサインのおねだりもし易い球場でした。



# 女子野球もアツい🔥



最近、女子野球が注目を集めています。尼崎BlueRoseでは、子どもたちが成長するための環境を整え、大人チームとも連携して試合を行っています。選手たちは、様々な経験を通じて技術を磨き、仲間との絆を深めています。

現在は監督とコーチ2名、選手9名の体制で活動しており、監督、コーチ、保護者が一団となって子どもたちをサポートしています。このチームでは、定期的に地域のイベントや運動会にも参加し、地域の方々との交流を大切にしています。

特に地域のイベントでは、女子野球の体験会を開催し、子どもたちに野球の楽しさを伝えています。監督の岩崎さんは、「地域に還元したい」との思いを持ち、積極的に活動しています。活動内容としては、雨天時にはバッティングセンターに行くなどの練習を行い、子どもたちが安全にプレーできるよう配慮しています。

また、女子野球の普及活動として、教育委員会と連携し、学校でのチラシ配布や体験会を実施しています。「私たちの活動が、地域の子どもたちにとっての新たな挑戦のきっかけになれば嬉しい」と語るチームスタッフは、子どもたちの「やりたい」を「もっとやりたい」に変えていくことが重要だと感じています。もっとやりたいからこそ、学びは始まるのです。



前任者が困っているときにチームの運営の仕方をレクチャーしたことがきっかけで監督に就任した岩崎さん

春の訪れとともに、野球シーズンが本格化します。地域の皆さんも、ぜひ女子野球の活動に参加し、応援してみたいかがでしょうか。尼崎BlueRoseは、地域に根ざしたスポーツ活動を通じて、次世代の選手たちを育てていくことを目指しています。地域の皆さんと共に、未来のスター選手を育てる一助となることを願っています。

## 尼崎BlueRose

ホームページ：<https://bluerose-girlsbb.amebaownd.com/>

活動日：土日祝

活動場所：浜田小学校・大庄小学校・その他地区グラウンド







## 石原 哲矢さん

元浜社会福祉連絡協議会の会長として、  
様々な会議や事業での活躍にとどまらない  
多彩な挑戦と活動とは.....



真っ赤なユニフォームが輝く「神戸レッドファイターズ」  
で2024年から監督を務められているのは石原哲矢さん。  
兵庫県還暦軟式野球連盟に属する同チームは創設30余年。

深江浜公園野球場をホームグラウンドとして、週に2回、各2時間の練習と、3月か  
ら始まる還暦リーグの試合では9時から13時頃までで2試合実施します。夏場は高  
齢のメンバーとともに暑さとの戦いでもあるとのこと。石原さんは、リーグ  
戦の間には監督兼選手としてチームに貢献するだけでなく審判もされています。

高校生で野球を経験後、地域の野球チームに属した時期を経て、22歳頃で野球  
を辞めてから約40年ぶりに退職を機に野球を再開し、会社の人しか知らなかった  
世界がチームの仲間を介して広がったと話してくださいました。

「野球チームには、警察官も郵便局員も経営者の人もいろんな人がおるわけ。そ  
れが60歳を起点にして仲間になった。人のつながりあるいは仲間が増えたっての  
は財産やと思うし、そういうふうな生き方がええかなあと思ってる。」

石原さんは元浜社会福祉連絡協議会の会長や元浜第5福祉協会会長などを兼任  
されていますが、地域活動においては女性が積極的に参加している一方で、男性  
にももっと地域に出てきてほしいと呼びかけています。野球や地域活動を通じて  
新しい仲間やつながりが広がったことが老後において大きなプラスとなっていると  
お話されていました。

石原さんのそんな多彩な活動の原動力となっているのは「自分の好きなこと」。  
地域活動も野球も、いかに楽しくできるかを考えているとのこと。

そして、元浜社会福祉連絡協議会の会長として、元浜第5福祉協会の会長とし  
て、老人会の会長として...など7つ程の役割を兼任される中、様々な会議への出席  
や会議の資料作り、元浜連協での事業などあちこちで活躍されており、さらに新  
しい取組として、初めての「元浜南会館まつり」を企画するなど楽しい挑戦を続  
けられています。



(上)元浜南会館まつりで販売された焼きそば  
(下)大盛況で売り切れた食材を急遽追加で買い  
に走る石原さん

(左)真っ赤に輝くユニフォームは2年程前に更新されたもので約5年のサイクルで変わるそう。  
(右)元浜第5福祉協会会長として、地区の行事やトピックスを毎月伝える「元浜5町会通信」

### 野球雑学③

野球ことばの「どまんなか」「ぽてんヒット」「球をしばく」「しょんべんカーブ」は、大阪弁です。  
それでは、ここで問題です。

プロ野球が使用する木製バットの仕様で制限がないのは、次の3つのうちどれでしょうか？

A. 長さ B. 重さ C. 太さ

答えは裏表紙のどこかにあります！





上から順に、学校の中庭の様子。部活動での練習風景。



武庫川のほとり、西高音楽室に心地よいブラスサウンドが響きます。音楽の授業カリキュラムが無くなり音楽室は吹奏楽部の独占スペースです。

地域の活性化にたいへん協力的なクラブで、大庄地域課の行事や地区のお祭などにたびたび演奏で花を添えてもらっています。もちろん野球部の試合の応援にも勇んで駆けつけます。

伝統ある吹奏楽部は今、部員が男子1名、女子5名の少人数バンドです。顧問の先生2名も加わって、火曜から金曜が放課後、たまには土曜日朝から練習に明け暮れています。「少人数でも楽譜に工夫を入れてブラスバンドらしいダイナミックな音になるように心がけています。」と顧問の堂本先生。

吹奏楽部は随時入部受付中です。興味のある西高生は音楽室へ！



(上左・上中央・上右・左下・右下)3月29日に開催したタコフェス夜市(地域行事)での演奏の様子。その他のイベントにも応相談で駆けつけます!とのこと。



# 突撃!となりのグループさん

～生涯学習プラザで活動するグループさんを紹介します～

人形劇

## 人形劇団てんとう虫

40余年の活動歴史をもつ人形劇の団体が、大庄南生涯学習プラザで練習を重ねています。尼崎市内の幼稚園や小学校だけでなく、西宮市内にも公演に行っています。

団員の数は、これまでで延べ50名弱。その時々で多かったり少なかったりしていますが、今は4名のメンバーです。こんな少人数で人形作り、舞台設営、サウンド、照明、演出、俳優を全部こなしています。既製品は使わないこだわりで、修理や洗濯などのメンテナンスもしながら、歴代の人形もケースに入れて50体以上保管してあるそう。

固定した役割分担は無くそれぞれの作品ごとに決めています。演じた後の子どもたちの笑顔を見ることが何よりの喜びとのこと。

「2021年に厚生労働大臣からボランティア活動に対して表彰を受けたことが大きな励みになっています。

片手使いの小さな人形に託して子どもたちに夢と希望と思い出を届けられたらと思っています。

公演のお呼びがかかれば喜んでまいります。

劇団員も募集していますので、気になった方はぜひお気軽にお問い合わせください。」と代表の森園さん。



(上)現在のメンバー。取材時は3名で対応いただきました。

(中)実際の公演の様子を見せていただきました。

(下左・下右)実際に使用している人形劇用の人形

(上)本番の様子。黒子になります。(下)ボランティア功労者に対する厚生労働大臣表彰を授与された時の様子(2021年)

活動日 : 火曜日午前  
活動場所 : 大庄南生涯学習プラザ(☎6416-0159)  
大庄元気むら  
成徳ミニ図書館(☎6411-0038)



## 今回の取材場所

# レンズの向こう側

～会場カメラマンの視点～

ここでは、大庄にあるいろいろな場所、風景を編集委員の視点から紹介していきます。



今はメールやスマホのメッセージアプリが中心となり、更に郵便料金の値上げも重なり、ハガキや手紙を出すことはほぼなくなりました。そんな中、大庄西町1丁目の静かな住宅街には、昔ながらのポストがみなさまからのハガキや手紙を受け付けています。(2025年3月撮影)



## 編集部員 & タレコミ募集!!

とくに記事を書いたりデザインをしてみたい人を真剣に募集しています！「なんだか楽しそう」という方ももちろん大歓迎。下記までご連絡ください。



わたなべ



まつなが



にしむら



おかだ



なかじま



いちすぎ



むらせ



あべ



おおさだ



しんあみ



たけの



なかすぎ

## 第4号編集メンバー

ぜひ誰かに感想を伝えてもらえると嬉しいです。

～事務局～

発行：O2（大庄通信）編集部  
事務局：尼崎市役所大庄地域課  
TEL：06-6419-8221  
FAX：06-6419-8226  
✉：ama-osyo-chiiki@city.amagasaki.hyogo.jp

2025年（令和7年）6月発行

大庄地域課SNSでも  
ご近所ニュース発信中！



Facebook



Instagram